

## 施策評価調書(1)

評価対象年度 令和6年度

めざす姿	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”
施策名	2 環境の保全と創造
施策関係課	(環境部)環境総務課・自然保護対策課・環境保全課

●施策の基本方針(目標)
市民とともに環境問題に対する意識を高め、良好な生活環境の保全と地球温暖化の防止に向けた取り組みを積極的に推進し、安心して生活できる環境をめざします。

●目標指標						
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:IV-2)			単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)	現状値	15.8(令和2年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値	13.100	15.400	14.100	16.800	0.000
指標②	名称	市域の温室効果ガスの排出量			単位	千t-CO2
	目標値	2,173.0(令和7年度)	現状値	2,412.0(平成28年度)	指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値	2,411.900	2,252.500	2,223.500	2,199.600	0.000
指標③	名称				単位	
	目標値		現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値					
指標④	名称				単位	
	目標値		現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値					
指標⑤	名称				単位	
	目標値		現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値					

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額	令和7年度予算額
	事業費	141,408	148,267	158,778	142,972	150,866
	概算人件費	203,741	186,340	190,785	193,347	177,454
	総事業費	345,149	334,607	349,563	336,319	328,320

\* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策①	単位施策②	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
		55	54	54	
(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)		結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	A		54.3		

## 施策評価調書(2)

評価対象年度

令和6年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名	① 生活環境の保全								
	事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
環境審議会経費	環境部 環境総務課	174	377	181	188	203	54	現状維持で実施	
		1,975	1,925	1,975	2,025	2,075			
環境啓発事業	環境部 環境総務課	5,135	5,891	11,042	5,818	6,579	54	現状維持で実施	
		15,800	15,400	15,800	16,200	16,600			
環境規制・啓発事業	環境部 環境保全課	1,676	2,099	4,063	2,396	8,579	56	現状維持で実施	
		90,455	82,775	86,110	83,916	92,960			
浄化槽設置整備費補助事業	環境部 環境保全課	566	522	930	840	940	56	現状維持で実施	
		1,580	1,540	1,185	2,025	2,075			
浄化槽台帳システム費	環境部 環境保全課	2,016	1,988	2,082	1,281	1,416	54	現状維持で実施	
		3,555	3,465	3,555	4,698	4,731			
大気・騒音環境調査事業	環境部 環境保全課	33,153	40,191	38,419	44,641	47,831	56	現状維持で実施	
		12,640	13,090	11,060	11,826	12,782			
水環境調査・分析事業	環境部 環境保全課	22,847	14,065	12,623	3,385	10,411	56	縮小して実施	
		33,970	33,110	29,625	30,375	2,905			

単位施策名	② 地球環境の保全								
	事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
地球温暖化対策活動支援事業	環境部 環境総務課	55,448	63,380	67,155	67,415	61,258	54	現状維持で実施	
		7,900	7,700	7,900	8,100	8,300			
環境マネジメントシステム事業	環境部 環境総務課	2,512	1,124	1,337	1,317	2,149	54	現状維持で実施	
		15,800	12,320	12,640	12,960	13,280			
地球温暖化防止活動推進事業	環境部 環境総務課	6,985	7,000	7,080	7,220	3,651	54	現状維持で実施	
		1,580	1,540	1,580	1,620	1,660			

単位施策名	③ 生物多様性の保全								
	事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
生物多様性保全事業	環境部 自然保護対策課	7,988	8,928	9,501	3,910	2,554	54	現状維持で実施	
		13,193	8,470	13,035	12,879	13,197			
鳥獣捕獲等許可関連事業	環境部 自然保護対策課	2,908	2,702	4,365	4,561	5,295	54	効率化して実施	
		5,293	5,005	6,320	6,723	6,889			

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	環境審議会経費				担当	環境部 環境総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5376	新規・継続	継続	

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 6 年度	～	年度				
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-2 環境の保全と創造-① 生活環境の保全						
根拠法令等	環境基本法、川口市環境審議会条例						

### 2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
環境基本法第44条および川口市環境審議会条例の規定に基づき設置。市長の諮問に応じて環境保全に関する事項を調査審議し、答申や助言を行うとともに「川口市環境基本計画」の進捗状況の点検を行う。			年数回審議会を開催し、知識経験者などの委員から環境保全に関する意見をもらう。
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
・第1回環境審議会(8/22) 第3次川口市環境基本計画および第2次川口市地球温暖化対策実行計画について、生物多様性の保全について ・第2回環境審議会(1/22) 川口市環境報告書について他			第3次川口市環境基本計画及び第2次川口市地球温暖化対策実行計画などに基づく施策の実施にあたり、幅広い分野から選任された委員の意見を伺うことができた。
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
第3次川口市環境基本計画や第2次地球温暖化対策実行計画の重要な環境施策について内容の確認と意見交換が行われ、進捗状況や今後の課題について把握することができた。			2回の審議会を通して、幅広い分野から選任された委員の意見を伺うことができ、川口市環境基本計画の進捗状況の点検を行うことができた。

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
指標②	名称								
	単位	指標の種別			指標・目標値の説明(算定式)				
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績値・達成状況									

### 4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	4 款	3 項	1 目	2 細目	1 細々目	環境審議会経費	
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
予算額(A)		537		203		305		203	203
決算額(B)=(C)+(D)		377		181		188			
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0	
	一般財源(D)	377		181		188		203	
	概算人件費(E)	1,925		1,975		2,025		2,075	2,075
従事職員人數(人)	常勤	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		2,302		2,156		2,213		2,278	2,278

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	近年、地球温暖化によると思われる気候変動や自然の喪失など、環境分野を取り巻く状況は大きく変化している。このような状況に的確に対応するため、審議会委員から多様な意見や提案をいただき、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進していく。	翌年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	環境啓発事業				担当	環境部 環境総務課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5320	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 19 年度	～	年度			
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-2 環境の保全と創造-① 生活環境の保全					
根拠法令等	環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律(平成十五年七月二十五日法律第百三十号)					

### 2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの			実施形態	直営			
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)				
	環境問題に関する啓発事業を通じて、市民に対し環境問題に关心を持ってもらい、意識の向上を図るために実施する。			市民が環境問題(地球温暖化)を考え、行動変容による実践。				
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコライフDAY(6月)</li> <li>・環境フェスタ(7月)</li> <li>・環境フォーラム(1月)</li> <li>・地球温暖化防止ポスターコンクール(6～12月)</li> <li>・グリーンカーテン啓発事業(5～9月)</li> <li>・セミナー(個人・企業向け)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコライフDAY(参加者 64,455人)</li> <li>・環境フェスタ(参加者 431人)</li> <li>・環境フォーラム(参加者 238人)</li> <li>・地球温暖化防止ポスターコンクール(応募者 443人)</li> <li>・セミナー(参加者 60人)</li> </ul>				
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題				
	事業の後のアンケートで、「環境を考えるきっかけになった」との声を多数いただいた。			最近の気候変動などもあり市民の意識も高まってきており、参加人数は令和5年度からは増えているが、成果が見えづらいという課題がある。				

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	エコライフDAY参加者数		指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	人	指標の種別		結果		「第2次川口市地球温暖化対策実行計画」の2030年度目標値とする。	
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	
		100,000.00			100,000.00		100,000.00	
指標②	名称				令和7年度			
	単位			指標・目標値の説明(算定式)				
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況	83,220.00			63,279.00		未達成	

### 4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	3 項	1 目	4 細目	1 細々目	環境啓発事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		6,597		12,219		6,560		6,579		4,510
決算額(B)=(C)+(D)		5,891		11,042		5,818				
財源※	特定財源(C)	0		0		263		351		
	一般財源(D)	5,891		11,042		5,555		6,228		
概算人件費(E)		15,400		15,800		16,200		16,600		16,600
従事職員人件費(人)	常勤	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		21,291		26,842		22,018		23,179		21,110

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目		判定	視点評価	視点	評価項目		判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	目的に対する事業内容	適正	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった			
	将来的な市民のニーズ	見込める							
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	対象者への周知	行った	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正			
	民間活用	行った・既に行った							

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性		
54 /60	成果が見えづらいというだけでコストを削減することは、将来的に良いとは言えないが、より効果的な啓発方法を検討していく必要がある。				翌年度	現状維持で実施	

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	環境規制・啓発事業			担当	環境部 環境保全課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5389	新規・継続 継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度	
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-2 環境の保全と創造-① 生活環境の保全			
根拠法令等	環境基本法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法、振動規制法 等			

### 2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
	市民が健康に生活できる環境を保全するため、法令等に基づき工場などへの立ち入り検査や指導など、公害の発生防止に向けた取り組みを実施する。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	環境法令に基づく届出等の処理件数 環境法令に基づく立入検査 公害等に係る苦情の相談受付及び処理 緊急時の対応 あき地の適正な管理の指導 環境啓発活動		
	届出件数 1,421件 立入検査数 426件 苦情処理件数 135件 光化学スモッグ注意報の対応件数 11件 異常水質事故 17件 あき地の指導件数 41件 環境啓発活動 イベントによる周知 2回 広報誌による周知 6回		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	市民の健康保持に資した。 生活環境の保全が図れた。 環境保全意識の向上に寄与した。		
	公害問題は、かねてからの経済・産業活動に伴うものに加え、今日では都市生活に伴うものまで多様化しており、市民及び事業者等に対し、適正な施設・設備の管理による発生抑制や、更なる環境保全行動等を促すため、効果的な助言・指導及び周知・啓発の方法を検討する必要がある。		

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	環境法令に基づく届出等の処理(受理)件数	指標・目標値の説明(算定式)	環境法令に定める届出及び報告の件数。 事業者が環境法令に基づき提出するもので、目標値の設定に馴染まない。				
	単位	件		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値	設定なし		設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
指標②	名称	公害苦情の処理(受理)件数	指標・目標値の説明(算定式)	市民等からの公害苦情に基づく現地調査及び発生源への指導件数。 随時、市民からの申立に基づき提出するもので、目標値の設定に馴染まない。				
	単位	件		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値	設定なし		設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
	実績値・達成状況	1,332.00	—	1,484.00	—	1,421.00	—	

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計	4 款	3 項	2 目	2 細目	1 細々目	環境規制・啓発事業
年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)			3,100	5,275	3,675	8,579	8,579		
決算額(B)=(C)+(D)			2,099	4,063	2,396				
財源※	特定財源(C)		1,561	3,460	1,435	1,627			
	一般財源(D)		538	603	961	6,952			
	概算人件費(E)		82,775	86,110	83,916	92,960	92,960		
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	10.75	0.00	10.90	0.00	11.20	0.00	11.20 0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			84,874	90,173	86,312	101,539	101,539		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
56 /60	多様化する公害問題について、市民及び事業者等に対し、適正な施設・設備の管理による発生抑制や、更なる環境保全行動等を促すため、効果的な助言・指導及び周知・啓発の方法を検討する。	翌年度 現状維持で実施
		翌々年度 現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	浄化槽設置整備費補助事業				担当	環境部 環境保全課	
事業区分	通常事業	−	問い合わせ先	048-228-5389	新規・継続	継続	

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 3 年度	～	年度				
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-2 環境の保全と創造-① 生活環境の保全						
根拠法令等	浄化槽法、循環型社会形成推進基本法、川口市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱						

### 2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
	合併処理浄化槽を新設設置しようとする者又は既存単独処理浄化槽若しくは汲み取り便槽から合併処理浄化槽に転換しようとする者に対して補助金を交付することにより、生活排水による公共用水域の水質汚濁を軽減する。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	合併処理浄化槽を新設設置した者及び既存単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に転換した者に対し、その費用の一部を補助した。	合併処理浄化槽の新設 1件 既存単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換 1件	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	生活排水による公共用水域の水質汚濁の軽減に寄与した。	公共下水道事業計画策定区域以外の地域であることや汚水処理未普及につながることなど、国庫助成の諸条件を満たさなければならず、補助のハードルは高い。生活排水による公共用水域の水質汚濁を軽減するため、効果的な周知方法を検討する必要がある。	

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	合併処理浄化槽設置・転換基数		指標・目標値の説明(算定式)	合併処理浄化槽を新設設置又はこれに転換し、その費用の一部を補助した件数(基数)。申請に基づき補助するものであり、目標値の設定に馴染まない。				
	単位	基	指標の種別		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値	設定なし		設定なし		設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
	実績値・達成状況	2.00	—	3.00	—	2.00	—		
指標②	名称								
	単位	基	指標の種別	指標・目標値の説明(算定式)					
	目標値	令和4年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績値・達成状況								

### 4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	4 款	3 項	2 目	2 細目	2 細々目	浄化槽設置整備費補助事業		
年度		令和4年度			令和5年度			令和6年度		
予算額(A)		940			940			940		
決算額(B)=(C)+(D)		522			930			840		
財源※	特定財源(C)	313			173			411		
	一般財源(D)	209			757			429		
概算人件費(E)		1,540			1,185			2,025		
従事職員人件費(人) 常勤 再任用		0.20	0.00	0.15	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25 0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		2,062			2,115			2,865		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
56 /60	生活排水による公共用水域の水質汚濁を軽減するため、効果的な周知の方法を検討する。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	浄化槽台帳システム費				担当	環境部 環境保全課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5389	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	令和3年度	~	年度	
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-2 環境の保全と創造-① 生活環境の保全			
根拠法令等	浄化槽法			

### 2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
当該年度の実施内容及び成果	<p>①アクション(当該年度に何を実施したか)</p> <p>「浄化槽に関する調査」、「浄化槽設置届出書」等の情報をもとに、台帳システムに浄化槽の設置及び維持管理に関する情報を入力した。台帳システムの情報から浄化槽管理者を抽出し、適切な維持管理の実施等を助言、指導した。</p>		
	<p>②アウトプット(①を実施した結果・実績)</p> <p>浄化槽台帳システムへの入力件数 57,963件 浄化槽管理者への指導件数 1,269件</p>		
	<p>③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)</p> <p>生活排水による公共用水域の水質汚濁の軽減に寄与した。</p>		
	<p>①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題</p> <p>台帳システムの情報を常に更新し、効率的な運用を行うことにより、浄化槽管理者に対し、正確で効果的な助言、指導を行ない、生活排水による公共用水域の水質汚濁をより軽減していく必要がある。</p>		

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	浄化槽個別情報の精査		指標・目標値の説明(算定式)	浄化槽個別情報を新規入力し、又は、これを更新した件数	
	単位	件	指標の種別		「浄化槽に関する調査」、「浄化槽設置届出書」等の情報をもとに、台帳システムへの入力、更新するものであり、目標値の設定に馴染まない。	
	目標値	令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度
		設定なし	設定なし		設定なし	設定なし
指標②	実績値・達成状況	52,913.00	—	58,172.00	—	57,963.00
	名称	浄化槽管理者への指導件数		指標・目標値の説明(算定式)	浄化槽管理者への指導件数	
	単位	件	指標の種別		浄化槽台帳システムの情報をもとに必要に応じて指導するものであり、目標値の設定に馴染まない。	
	目標値	令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度
		設定なし	設定なし		設定なし	設定なし
	実績値・達成状況	2,243.00	—	2,355.00	—	1,269.00

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計	4 款	3 項	2 目	2 細目	3 細々目	浄化槽台帳システム導入事業
年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)			2,343	2,354	1,320	1,416	1,416		
決算額(B)=(C)+(D)			1,988	2,082	1,281				
財源※	特定財源(C)		649	535	216	340			
	一般財源(D)		1,339	1,547	1,065	1,076			
	概算人件費(E)		3,465	3,555	4,698	4,731	4,731		
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	0.45	0.00	0.45	0.00	0.57	0.00	0.57 0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			5,453	5,637	5,979	6,147	6,147		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行わなかった	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	台帳システムへの入力の省力化や、浄化槽管理者に対し、正確で効果的な助言、指導について検討する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	大気・騒音環境調査事業			担当	環境部 環境保全課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5389	新規・継続 継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度	
第5次川口市総合計画	IV	都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-2 環境の保全と創造-① 生活環境の保全		
根拠法令等	大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、騒音規制法、振動規制法			

### 2 事業概要

事務分類	法定受託事務	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
	環境法令に基づき、大気汚染、ダイオキシン類、自動車騒音の常時監視等を行い、その結果について環境省や埼玉県に報告する。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	市内6測定局で大気汚染の常時監視 市内3地点で有害大気汚染物質の常時監視 市内2地点で微小粒子状物質(PM2.5)の成分分析 市内3地点でダイオキシン類の常時監視 市内6路線、8,285戸における自動車騒音の常時監視等を実施した。		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	大気汚染は光化学オキシダント以外は環境基準を達成 有害大気汚染物質のうち環境基準のある物質は全て基準を達成 ダイオキシン類は、すべての項目で環境基準を達成 自動車騒音の環境基準達成率は98.1% 微小粒子状物質(PM2.5)の成分分析結果を含め、データは環境省や埼玉県に提供するほか、市HP等で情報提供を行った。		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	データは国に提供しており、集積・解析される等して環境施策の基礎データとして活用されている。 また、リアルタイムに結果を反映し、光化学スモッグ注意報が11日(11回)発令された。		
	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	これらの調査・測定は、法定受託事務で事務処理基準等により決められている。事務処理基準の改定に合わせて見直しをするほか、新規に調査物質、調査対象として設定されたものには対応していく。		

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	大気環境基準項目達成率		指標・目標値の説明(算定式)	達成率(%)=評価年度の環境基準達成項目数/環境基準測定項目数(11項目)×100 達成率(%)が高いほど良好な環境といえる。				
	単位	%	指標の種別		成果		令和4年度		令和5年度
	目標値	100.00			100.00		100.00		100.00
	実績値・達成状況	90.90	未達成		90.90	未達成	90.90	未達成	100.00
指標②	名称								
	単位				指標・目標値の説明(算定式)				
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況								令和8年度

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計	4 款	3 項	2 目	4 細目	1 細々目	大気・騒音環境調査事業
年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)			40,986	38,891	47,486	47,831	58,242		
決算額(B)=(C)+(D)			40,191	38,419	44,641				
財源※	特定財源(C)		2,541	2,450	2,322	2,322			
	一般財源(D)		37,650	35,969	42,319	45,509			
概算人件費(E)			13,090	11,060	11,826	12,782	12,782		
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	1.70	0.00	1.40	0.00	1.54	0.00	1.54
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			53,281	49,479	56,467	60,613	71,024		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
		翌年度	現状維持で実施
56 /60	これらの調査・測定は専用の機器や資格、ノウハウをもつ事業者へ委託が必須である。また、大気汚染の常時監視を行う6測定局では、施設の老朽化に伴う維持管理費の増加、25台の測定機器は、5～7年毎の更新が必要である。事務処理要領の改正等、機会を捉えて見直しを図る。		拡充して実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	水環境調査・分析事業			担当	環境部 環境保全課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5389	新規・継続 継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度	
第5次川口市総合計画	IV	都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-2 環境の保全と創造-① 生活環境の保全		
根拠法令等	水質汚濁防止法			

### 2 事業概要

事務分類	法定受託事務	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
	環境法令に基づき公共用水域及び地下水の常時監視等を行い、結果について環境省や埼玉県に報告する。本市における環境の状況を市民に公表し、情報提供する。各部局からの依頼により分析を実施し委託料を節減する。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか) 市内9地点で公共用水域の常時監視 市内2地点で地下水の概況調査、および1地点で継続監視調査 各部局からの依頼による水質等分析		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績) 公共用水域環境基準達成率 80% 地下水概況調査地点環境基準達成率 100% 環境保全課及び各部局からの依頼による分析検体数 1,467検体 データは環境省や埼玉県に提供するほか、市HPなどで情報提供を行った。		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか) データは国に提供しており、集積・解析される等して環境施策の基礎データとして活用されている。 各部局の委託料が節減された。		
	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題 これらの調査は、法定受託事務で国の処理基準や県の水質測定計画等により決められている。基準や計画等の改定に合わせて見直しをするほか、新規に調査物質、調査対象として設定されたものには対応していく。機器の老朽化等による更新コストと比較した結果、分析センターを廃止し、これまでの水質分析等は各部局にて対応することとした。		

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	公共用水域のBOD値の環境基準達成率	指標・目標値の説明(算定式)	達成率(%)=評価年度の環境基準達成地点数／環境基準適用地点数(5地点)×100 達成率(%)が高いほど良好な環境といえる。
	単位	%		達成率(%)
目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.00	100.00		100.00
実績値・達成状況	80.00	未達成	80.00	未達成
指標②	名称	分析検体数	指標・目標値の説明(算定式)	環境保全課及び各部局からの依頼による分析検体数。
	単位	検体		府内からの依頼により件数は増減するため、目標値の設定に馴染まない。令和6年度をもって分析業務を取りやめ、各部局での対応とした。
目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	設定なし	設定なし		設定なし
実績値・達成状況	1,581.00	—	1,467.00	—

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計	4 款	3 項	2 目	4 細目	2 細々目	水環境調査・分析事業
年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)			15,393		14,048		5,083		10,411
決算額(B)=(C)+(D)			14,065		12,623		3,385		0
財源※	特定財源(C)		6,838		6,811		3,385		0
	一般財源(D)		7,227		5,812		0		10,411
	概算人件費(E)		33,110		29,625		30,375		2,905
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	4.30	0.00	3.75	0.00	3.75	0.00	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			47,175		42,248		33,760		13,316
									0

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
56 /60	常時監視について、基準や計画等の改定に合わせて見直しをするほか、新規に調査物質、調査対象として設定されたものに対応する必要があることから、効果的な実施方法を検討する。 分析センターを廃止し、これまでの水質分析等は各部局にて対応することとした。これに伴い分析に係る経費が縮減された。	翌年度 縮小して実施 翌々年度 他事業に統合されて実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	地球温暖化対策活動支援事業				担当	環境部 環境総務課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-228-5320	新規・継続	継続	

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 22 年度	～	年度				
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-2 環境の保全と創造-② 地球環境の保全						
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、エネルギーの使用の合理化等に関する法律						

### 2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
温室効果ガス排出量を削減する活動に取り組む者に対し支援金の交付することにより川口市における二酸化炭素排出量を削減し、脱炭素社会への推進を図ることを目的とする。			ゼロカーボンシティを目指していく上で市内の再生可能エネルギーの利用を上げる。
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
・地球温暖化対策活動支援金 市民に対し太陽光発電システムの設置など11種類の支援金を交付した。			太陽光発電システム 301件、コーポレーティブソーラーシステム 73件、雨水貯留施設 9件、生ごみ処理容器 192件、定置用リチウムイオン蓄電池 249件、HEMS 75件、FCV 2件、EV 63件、公用電気自動車充電器 1件 計 965件
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
支援金対象の機器を設置したことにより、直接または間接的にCO2の削減に寄与した。			一部目標に達していない支援対象システムはあったが、地球温暖化対策実行計画の重点指標の達成に向けては、十分でないにしろ進捗があった。目標に達していない理由の一つに予算限度額に達し募集を予定より早めで締め切ることとなったことがあり、予算の確保が課題である。

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	太陽光発電システムの支援件数	指標・目標値の説明(算定式)	「第2次川口市地球温暖化対策実行計画」の2030年度目標値に近づけるためR3～R5の3年間の平均の1.2倍を目標とする。				
	単位	件		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値	350.00		290.00		323.00	323.00	0.00
指標②	名称	定置用リチウムイオン蓄電池の支援件数	指標・目標値の説明(算定式)	「第2次川口市地球温暖化対策実行計画」の2030年度目標を達成するためR3～R5の3年間の平均値を維持する。				
	単位	件		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値	200.00		225.00		263.00	263.00	0.00
実績値・達成状況		309.00		達成	245.00	達成	249.00	未達成

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		4 款	3 項	1 目	4 細目	3 細々目	地球温暖化対策活動支援事業				
	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度					
予算額(A)			64,693			67,171						
決算額(B)=(C)+(D)			63,380			67,155						
財源※			特定財源(C)			0						
			一般財源(D)			63,380						
			概算人件費(E)			7,700						
			従事職員人件費(人)			1,00						
			常勤			0.00						
			再任用			1.00						
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			71,080			75,055						
						75,515						
						69,558						
※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。												

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行つた	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	この2年は募集期間終了前に予算限度額には達しており、予算が十分確保できない場合は対象システムや支援金額について定期的に見直していく必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	環境マネジメントシステム事業				担当	環境部 環境総務課	
事業区分	通常事業	~	問い合わせ先	048-228-5377	新規・継続	継続	

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 11 年度	~	年度								
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-2 環境の保全と創造-② 地球環境の保全										
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律										

### 2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
市の事務及び事業において、第2次川口市地球温暖化対策実行計画に基づき、可能な限り環境に負荷を与えない事業を展開することにより環境負荷を継続的に低減していくこと。			市の事務及び事業において、環境への配慮をより一層推し進め、環境への影響を継続的に改善していくことにより、地球環境の保全と創造及び循環型社会の構築をめざす。
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・温対法、省エネ法及び県条例に基づき、事務及び事業に伴うエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量の調査</li> <li>・川口市環境推進調整委員会</li> <li>・省エネ最適化診断</li> <li>・施設管理者研修</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>市の事務及び事業に伴うエネルギーの使用量及び温室効果ガス排出量の算定を行い、温対法、省エネ法及び県条例に基づき報告した。更に、報告結果を市ホームページで公表した。</li> <li>・川口市環境推進調整委員会(出席者:29人)</li> <li>・省エネ最適化診断(診断施設:青木収集事務所)</li> <li>・施設管理者研修(参加者:86人)</li> </ul>
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
市の事務及び事業に伴うエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量の把握や、環境研修等の実施により、温室効果ガスの排出量を削減する意識を高めることが出来た。			市の事務及び事業に伴うエネルギー使用量の把握や、環境研修等の実施により、温室効果ガスの排出量削減に向けた意識啓発が図られた。今後も、第2次川口市地球温暖化対策実行計画に基づき、各種施策を行なっていく必要がある。

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	市の事務事業における温室効果ガス排出量		指標・目標値の説明(算定式)	平成25年度を基準年度とし、令和12年度までに、市の事務事業における温室効果ガスの排出量を42%以上削減し、36,154t-CO2以下とする。				
	単位	t-CO2	指標の種別		結果				
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
指標②			0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	実績値・達成状況		55,308.00		56,124.00	52,023.00			

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		4 款	3 項	1 目	3 細目	1 細々目	環境マネジメントシステム事業						
年度		令和4年度			令和5年度		令和6年度		令和7年度					
予算額(A)			1,701	1,886			1,497	2,149						
決算額(B)=(C)+(D)			1,124	1,337			1,317							
財源※	特定財源(C)		0	0		0	0	0						
	一般財源(D)		1,124	1,337		1,317	2,149							
概算人件費(E)			12,320	12,640		12,960	13,280	13,280						
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	1.60	0.00	1.60	0.00	1.60	0.00	1.60	0.00				
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			13,444	13,977		14,277	15,429	15,417						

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目		判定	視点評価	視点	評価項目		判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ		高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果		期待どおり	13 /15
	市関与の必要性		高かった			施策(上位目的)への貢献		高かった	
	将来的な市民のニーズ		見込める			目的に対する事業内容		適正	
効率性	コストに対する成果		高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件		適正	13 /15
	業務プロセス改善		検討した			受益者負担の水準		適正	
	民間活用		行った・既に行った			対象者への周知		行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など					今後の実施方向性		
54 /60	市の事務及び事業における令和6年度の温室効果ガスは52,023t-CO2であり、基準年度(平成25年度)61,854t-CO2と比べて15.9%の減であった。また、前年度(令和5年度)56,124t-CO2と比べて7.3%の減であった。温室効果ガスの削減に向けて、各種施策を推進していく。	翌年度	現状維持で実施	翌々年度	現状維持で実施			

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	地球温暖化防止活動推進事業				担当	環境部 環境総務課	
事業区分		-	問い合わせ先	048-228-5320	新規・継続	継続	

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	元 年度	～	年度						
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-2 環境の保全と創造-② 地球環境の保全									
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律第38条、川口市地球温暖化防止活動推進センターの指定等に関する要領									

### 2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託		
	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	第2次川口市地球温暖化対策実行計画に掲げる基本方針に基づく施策及び事業の実施を行うもの。また市民(児童・生徒を含む)に対し環境問題(地球温暖化)を考え、行動変容を啓発を行う。			市民(児童・生徒を含む)が環境問題(地球温暖化)を考え、行動変容による実践。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクルプラザ4階にある普及啓発スペースを開所(イベントやパネル展示 水曜から日曜の週5日)</li> <li>・各種イベントへの出展</li> <li>・学校、事業者からの依頼による環境講座講師派遣</li> <li>・その他(相談対応、HP公開等)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>利用人数 12,380人</li> <li>・エコスクールン 76回</li> <li>・環境講座 22回</li> <li>・来場者向けイベント 7回</li> <li>・HPの更新</li> </ul>		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	エコ・スクールンなどで児童・生徒に環境教育を行うことは、すぐに成果として表れるものではないが、考えるきっかけとなり、今後も繋がっていく。また一般(個人・団体)向けのイベントや相談も受け付けており、環境問題の対策の一助になっていく。			予算的なものもあり、エコスクールンの依頼の学校すべてに派遣できておらず、また成果が見えづらい。		

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用者数(地球温暖化防止活動推進事業)		指標・目標値の説明(算定式)	業務委託契約において定めている目標値		
	単位	人	指標の種別		結果		
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度
		6,000.00		6,000.00	6,000.00	6,000.00	0.00
	実績値・達成状況	13,371.00	達成	15,557.00	達成	12,380.00	達成
指標②	名称	エコ・スクールン実施回数		指標・目標値の説明(算定式)	業務委託契約において定めている目標値		
	単位	回	指標の種別		結果		
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度
		40.00		52.00	52.00	52.00	0.00
	実績値・達成状況	110.00	達成	114.00	達成	76.00	達成

### 4 年度別事業費(単位:千円)

	予算費目	川口市一般会計	4 款	3 項	1 目	4 細目	5 細々目	地球温暖化防止活動推進事業
	年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	予算額(A)	7,000		7,080		7,220		3,651
	決算額(B)=(C)+(D)	7,000		7,080		7,220		3,651
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0
	一般財源(D)	7,000		7,080		7,220		3,651
	概算人件費(E)	1,540		1,580		1,620		1,660
	従事職員人件費(人) 常勤 再任用	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20 0.00
	総事業費[(A)又は(B)+(E)]	8,540		8,660		8,840		5,311 5,311

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目		判定	視点評価	視点	評価項目		判定	視点評価		
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり		13 /15			
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった					
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正					
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正		13 /15			
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正					
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った					

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など					今後の実施方向性		
54 /60	学校等からの講座の講師派遣依頼は目標値を上回る依頼があるが、同一の学校からの継続的な依頼も多く、さらなる周知方法や新たなメニューを加えることについて効率的な派遣の検討を行う。					翌年度	現状維持で実施	

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	生物多様性保全事業				担当	環境部 自然保護対策課
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-229-6735	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	令和元年度	～	年度	
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-2 環境の保全と創造-③ 生物多様性の保全			
根拠法令等	生物多様性基本法			

### 2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
	本市には荒川や安行台地など、動植物の生息・生育に欠かせない豊かな緑や水辺が残されている。このような自然環境の量的・質的向上を図るとともに、それぞれの社会的自然的条件に応じた生物多様性の保全を推進する。		
当該年度の実施内容及び成果	<p>①アクション(当該年度に何を実施したか)</p> <p>市内小学校全児童に川口いきもの通信や川口いきもの図鑑を配布したほか、イナバパークリーのいきものマップを本庁舎や歴史自然資料館等に設置するなど啓発活動を行った。市民参加型の川口いきもの調査を実施し、市内の自然環境の調査を行った。小学生とその保護者を対象に川口いきもの探検隊や夜のいきもの観察会などの自然観察会を実施した。</p>		
	<p>②アウトプット(①を実施した結果・実績)</p> <p>川口いきもの通信の配布枚数:102,000枚(年3回) 川口いきもの図鑑の発行部数:36,000部 いきものマップの発行枚数:3,000枚 川口いきもの調査の報告件数:4,224件 川口いきもの探検隊6回開催:定員20組(応募数60組) 夜のいきもの観察会3回開催(中止2回):定員220組(応募数790組)</p>		
	<p>③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)</p> <p>川口いきもの通信や川口いきもの図鑑の発行等による啓発活動や、川口いきもの探検隊や夜のいきもの観察会等のイベントの実施により、生物多様性について興味や関心を持つ機会を提供することができた。</p>		
	<p>①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題</p> <p>今後も継続して啓発事業や観察会等を実施し、生物多様性の保全に向けた取り組みを続けることが重要である。より多くの市民が自然や生きものにふれあう機会を提供できるよう、各事業の見直しや新規事業などを検討していく必要がある。</p>		

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称						指標・目標値の説明(算定式)
	単位	指標の種別					
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
実績値・達成状況							
指標②	名称						指標・目標値の説明(算定式)
	単位	指標の種別					
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
実績値・達成状況							

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	4 款	3 項	1 目	4 細目	4 細々目	生物多様性保全事業
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		9,371		10,051		4,221		2,554
決算額(B)=(C)+(D)		8,928		9,501		3,910		2,554
財源※	特定財源(C)	0		1,000		0		0
	一般財源(D)	8,928		8,501		3,910		2,554
	概算人件費(E)	8,470		13,035		12,879		13,197
従事職員人件数(人)	常勤	1.10	0.00	1.65	0.00	1.59	0.00	1.59
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		17,398		22,536		16,789		15,751

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
54 /60	川口いきもの図鑑は増刷が必要になるほどの多くの反響があった。また、川口いきもの探検隊や夜のいきもの観察会については定員を超える多くの応募があった。生物多様性について興味や関心を持ち、理解を深めてもらう機会の提供となっているため、今後も継続(拡充)して実施していくことが重要である。	翌年度 現状維持で実施
		翌々年度 現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	鳥獣捕獲等許可関連事業				担当	環境部 自然保護対策課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-6735	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度	～	年度						
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-2 環境の保全と創造-③ 生物多様性の保全								
根拠法令等	鳥獣の保護及び管理並びに狩獵の適正化に関する法律、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律								

### 2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの			実施形態	一部委託			
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)							
	市内における鳥獣の保護や管理及び、特定外来生物に指定されているアライグマを埼玉県の「アライグマ防除実施計画」に基づき駆除する。							
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)				
	市内における有害鳥獣の捕獲申請の許可を行った。 市内全域で箱わなによるアライグマの捕獲及び処分を行った(誤認捕獲のハクビシンについても同様の処理)。 カラス被害について、緊急性があった場合に公共施設や公道上のヒナの回収を行った。			鳥獣の捕獲許可件数31件 アライグマ捕獲罠設置件数282件 うちアライグマ捕獲頭数80頭・ハクビシン捕獲頭数15頭 カラス被害による現地調査件数2件・うちカラスのヒナ回収2羽				
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題				
	アライグマの捕獲頭数は期待通りの成果をあげることができ、市民の生活被害等の減少や生態系への被害を抑制することができた。			埼玉県全体でアライグマの捕獲頭数は年々増加しており、本市もそれに比例して捕獲罠の設置件数及びアライグマの捕獲頭数は増加傾向にある。アライグマの根絶に向けて、引き続き埼玉県や委託業者と調整を図りながら、効率的で費用対効果の高い対策を模索する必要がある。				

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別					
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績値・達成状況							
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別					
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績値・達成状況							

### 4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	4 款	3 項	1 目	4 細目	2 細々目	鳥獣捕獲等許可関連事業
年度		令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	令和8年度
予算額(A)		3,892	5,318		4,598		5,295	5,295
決算額(B)=(C)+(D)		2,702	4,365		4,561			
財源※	特定財源(C)	266	386		395		378	
	一般財源(D)	2,436	3,979		4,166		4,917	
概算人件費(E)		5,005	6,320		6,723		6,889	6,889
従事職員人件費(人)	常勤	0.65	0.00	0.80	0.00	0.83	0.00	0.83
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		7,707	10,685		11,284		12,184	12,184

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目		判定	視点評価	視点	評価項目		判定	視点評価
	現在の市民のニーズ	高かった				期待どおりの成果	期待どおり		
必要性	市閥与の必要性	高かった	15 /15	有効性		施策(上位目的)への貢献	高かった	13 /15	
	将来的な市民のニーズ	見込める				目的に対する事業内容	適正		
	コストに対する成果	どちらともいえない				受益者の資格条件	適正		
効率性	業務プロセス改善	行った・既に行った	13 /15	公平性		受益者負担の水準	適正	13 /15	
	民間活用	行った・既に行った				対象者への周知	行った		

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など					今後の実施方向性	
	54 /60	アライグマの捕獲頭数は期待通りの成果をあげることができ、市民の生活被害等の減少や生態系への被害を抑制することができた。現在、捕獲に関しては設置業者と回収業者が異なる体制となっており、さらなる捕獲頭数の確保に向けて本課を含めた3者で密に調整を図っていく。				翌年度	効率化して実施
		翌々年度	効率化して実施				